

「不規則動詞の過去形」一覧と覚え方

不規則動詞の過去形とは（不規則に変化する動詞）

英語で過去を表すためには、「過去形」というものを使うんだ。日本語では「～した。」と言え
ば過去を表すことができるよね。

それと同じで、英語では過去を表すためには動詞を「過去形」に形を変えて、この文章が過去で
あることを表すんだ。

規則動詞と不規則動詞の違い

そして、英語の過去形には、規則動詞と不規則動詞というものがあるんだ。

規則動詞というのは、単語の最後に「ed」をつけるだけで過去形になるものことだよ。

例えば、worked / called / played など規則動詞だね。

一方で、不規則動詞というのは「ed」をつけるだけでは過去形にならないものことだよ。

例えば、make→made / tell → told / begin → beganなどは不規則動詞だね。

例の単語からもわかるように、どの単語も決まった同じパターンで過去形に変化しているわけじ
ゃないからとても覚えるのが大変なんだ。

規則動詞と不規則動詞の見分け方

規則動詞と不規則動詞の見分け方についてなんだけど、実は不規則変化する動詞の法則は存在し
ないんだ。

でも不規則変化する単語は結構限られている。

だから、まずは不規則変化する単語をしっかり覚えて、それ以外は規則動詞だという覚え方を
するしかない。

まずはどんな単語が不規則動詞になるか、一覧で見よう。



主な不規則動詞の過去形一覧

不規則動詞	過去形	発音記号
break	broke	[brʊk]
fall	fell	[fɛl]
sink	sank	[sæŋk]
be	was/were	[waz/wɜr]
become	became	[bɪ'keɪm]
begin	began	[bɪ'gæŋ]
bring	brought	[brɔt]
build	built	[bɪlt]
buy	bought	[bɔt]
catch	cought	[kɔt]
choose	chose	[tʃʊz]
come	came	[keɪm]
cut	cut	[kʌt]
do	did	[dɪd]
drink	drank	[dræŋk]
eat	ate	[eɪt]
feel	felt	[fɛlt]
find	found	[faʊnd]
fit	fit	[fɪt]
fly	flew	[flu]
forget	forgot	[fər'gɔt]
get	got	[gɔt]
give	gave	[geɪv]
go	went	[wɛnt]
have	had	[hæd]
hear	heard	[hɜrd]
hit	hit	[hɪt]
hold	held	[hɛld]
keep	kept	[kept]
leave	left	[left]
light	lit	[lɪt]



不規則動詞	過去形	発音記号
lose	lost	[lɒst]
make	made	[meɪd]
mean	meant	[ment]
meet	met	[met]
pay	paid	[peɪd]
put	put	[pʊt]
read	read	[red]
ride	rode	[roud]
ring	rang	[ræŋ]
run	ran	[ræn]
say	said	[sed]
see	saw	[sɔ]
sell	sold	[sould]
send	sent	[sent]
shake	shook	[ʃʊk]
sing	sang	[sæŋ]
sit	sat	[sæt]
sleep	slept	[slept]
speak	spoke	[spʊk]
spend	spent	[spent]
stand	stood	[stʊd]
swim	swam	[swæm]
take	took	[tʊk]
tell	told	[tould]
think	thought	[θɔt]
throw	threw	[θru]
understand	understood	[ʌndər'stʊd]
wear	wore	[wɔr]
win	won	[wʌn]
write	wrote	[rouʔ]

この表の単語は重要なものが載っているから、まずはこの表の過去形をしっかりと覚えよう。
もちろんこれ以外にもあるから、出会った時にしっかりと覚えよう！



不規則動詞の覚え方

さっきも言ったように、不規則動詞には法則がないから、どんな過去形になるかは決まっていな

い。ただ、いくつかのグループに分けられるから、そのグループを確認してみよう。

(1) 単語の母音が別の母音に変化する動詞

一番多いのがこのタイプ。単語の一部の形が変わっているよ。多くはeになったりaになっているね。

例：

- ・ fall (落ちる) → fell (落ちた)
- ・ sink (沈む) → sank (沈んだ)
- ・ become (なる) → became (なった)
- ・ begin (始まる) → began (始まった)
- ・ come (来る) → came (来た)
- ・ drink (飲む) → drank (飲んだ)
- ・ give (与える) → gave (与えた)
- ・ hold (持つ) → held (持った)
- ・ ring (鳴る) → rang (鳴った)
- ・ run (走る) → ran (走った)
- ・ sing (歌う) → sang (歌った)
- ・ sit (座る) → sat (座った)
- ・ throw (投げる) → threw (投げた)
- ・ win (勝つ) → won (勝った)
- ・ write (書く) → wrote (書いた)



(2) 単語の最後にghtをつける動詞

単語の最後の形がghtになるタイプ。nightやrightと同じように、ghは発音しないで「ght = ト」と発音するんだ。

例：

- ・ bring (持ってくる) → brought (持ってきた)
- ・ buy (買う) → bought (買った)
- ・ catch (捕まえる) → caught (捕まえた)
- ・ think (考える) → thought (考えた)

(3) 単語の最後がt/dになっている動詞

単語の最後がtまたはdに変わるタイプ。

例：

- ・ build (建てる) → built (建てた)
- ・ feel (感じる) → felt (感じた)
- ・ keep (保つ) → kept (保った)
- ・ leave (去る) → left (去った)
- ・ lose (失う) → lost (失った)
- ・ mean (意味する) → meant (意味した)
- ・ send (送る) → sent (送った)
- ・ sleep (眠る) → slept (眠った)
- ・ spend (過ごす) → spent (過ごした)
- ・ hear (聞く) → heard (聞いた)
- ・ sell (売る) → sold (売った)
- ・ tell (話す) → told (話した)



(4)現在形と過去形で形が変わらない動詞

現在形と過去形で同じ形のままの単語なので、スペルを覚えるのは難しくないタイプ。ただし、readの過去形だけは「リード」じゃなくて「レッド」と読むから、発音だけ注意！

- ・ cut (切る) → cut (切った)
- ・ fit (適合する) → fit (適合した)
- ・ put (置く) → put (置いた)
- ・ read (読む) → read (読んだ)

このタイプは「カット」や「フィット」など、跳ねるような音の単語が多いから覚えやすいね。

(5)同じ形の部分は同じ変化をする

comeやbecomeなどのように、異なる単語でも同じ形を持っている単語があるんだ。その場合は、基本的に同じように変化をするよ。

- ・ come (来る) → came (来た)
- ・ become (なる) → became (なった)
- ・ get (手に入れる) → got (手に入れた)
- ・ forget (忘れる) → forgot (忘れた)
- ・ stand (立つ) → stood (立った)
- ・ understand (理解する) → understood (理解した)



不規則動詞の否定文

次に、不規則動詞の否定文はどのように作るかについて考えてみよう。
 否定文とは、「～ではない。」とその内容が違うことを表す文章のことだよ。
 英語の否定文は、“主語 + “don't (do not) + 動詞の原形”で作られる。

●現在形の否定文の作り方

主語	+	don't	+	動詞の原形	~	.
↓		↓		↓		
I		don't		have	a	pen.

現在形の否定文

肯定文：I have a pen.

否定文：I don't have a pen.

それを過去形にするということは、「～ではなかった。」と過去のことを否定する文章になるんだ。

英語でも”didn't“に変えることで過去の否定文を表すようになるよ。

●過去形の否定文の作り方

主語	+	didn't	+	動詞の原形	~	.
↓		↓		↓		
I		didn't		have	a	pen.

過去形の否定文

肯定文：I had a pen.

否定文：I didn't have a pen.

そして、一つ注意が必要なのは元々の文章では”had“を使っていたけど、否定文では”have“になっている。



これは、don'tやdidn'tのあとは「動詞の原形」を使うというルールがあるからなんだ。
これは不規則動詞だけでなく、規則動詞でも同じルールだからしっかり覚えておこう。

否定文の作り方はdon'tやdidn'tをつけるだけだからとても簡単だね！

ゆみねこの教科書

ゆみねこの教科書

ゆみねこの教科書

ゆみねこの教科書



不規則動詞の疑問文

疑問文とは、「～ですか?」と尋ねる文章のことだったよね。

疑問文を英語で表す場合は「Do + 主語 + 動詞の原形 ~?」を使っていたね。

●現在形の否定文の作り方

Do + 主語 + 動詞の原形 ~ ?
 ↓ ↓ ↓
Do you have a pen?

現在形の疑問文

肯定文：I have a pen.

疑問文：Do you have a pen?

疑問文を表すDoを一番最初につけることで、この文章が疑問文だというマークになっているんだね。

それを過去形にするということは、「～でしたか?」と過去のことを尋ねるように変わるんだ。英語でも” Did you ~?“に変わることで、過去の疑問文を表すようになるんだ。

●過去形の否定文の作り方

Did + 主語 + 動詞の原形 ~ ?
 ↓ ↓ ↓
Did you have a pen?



過去形の疑問文

肯定文：I had a pen.

疑問文：Did you have a pen?

例えば、” Do you play in the park?”と聞かれたら今のことか、これからのことだと思うよね。それが” Did you play in the part?”と聞かれたら、昨日か一昨日、少なくとも今よりは前の出来事だと思うよね。

多くの場合、「昨日」や「先週」のように過去をあらわす単語と一緒に使われている。

逆に、「昨日」や「先週」のような単語が無くても過去のことを言っているから、リスニングの時にはこの単語がdoなのかdidなのかを注意して聞き取ろう。

この一語は非常に大切な一語なんだ。

疑問文の作り方は文の初めにDoやDidをつけるだけだよ。最後にクエスチョンマーク“?”をつけるのを忘れないように！



不規則動詞の過去形を使った文の例を確認しよう

最後に、実際に単語を使った文章で練習してみよう。

(1) I saw a movie last weekend.

日本語：先週末、私は映画を見ました。

動詞: see (見る) → saw (見た)

(2) He ate a delicious pizza for lunch.

日本語：彼はランチに美味しいピザを食べました。

動詞: eat (食べる) → ate (食べた)

(3) She read an interesting book in one day.

日本語：彼女は1日で面白い本を読みました。

動詞: read (読む) → read (読んだ)

もしreadが現在形だった場合、主語が三単現だからreadsにならないとおかしいよね！だからこれは過去形なんだ。

(4) They wrote a letter to their grandparents.

日本語：彼らは祖父母に手紙を書きました。

動詞: write (書く) → wrote (書いた)

(5) We ran in the park and had fun.

日本語：私たちは公園で走って楽しかったです。

動詞: run (走る) → ran (走った)

動詞: have (持つ) → had (持った)

